

里地里山の生物多様性の経済的価値の評価結果の公表について

1. 第1回委員会での指摘

平成27年度 経済的手法を用いた生物多様性の価値の主流化等に関する第1回検討委員会において、里地里山の生物多様性の経済的価値の評価結果の公表に関して、各委員から以下のようなご意見・ご指摘を頂いた。

(1) 公表にあたっての留意点

- ・あくまで、多様な価値の中でもごくわずかな生物多様性のみを評価したものであること、他に多様な価値があることを説明すべきである。「身近な生き物を保全することだけで、これだけ評価頂いた」という捉え方になる。
- ・若干低めの結果であるが、「過大評価とならない工夫をして控えめの金額にした」という説明をすればよい。
- ・関心がある人にとって、きちんと分かるものであればよい。

(2) 今後の課題（CVM関連）

- ・生物多様性以外の要素（レクリエーションや木材利用など）と比較して、劣るような金額ではないということを示すことが出来れば、里地里山の生物多様性保全の重要性が伝わりやすくなる。
- ・里地里山の生物多様性の評価額としては、やや低い印象がある。使用する写真についてももう少し留意するなどにより、生き生きとした自然の広がりがあるという魅力がもう少し伝われば、もっと高く評価されただろう。

2. 公表資料の概要

(1) 背景・経緯

- ・COP10以降、環境省においても、わが国の自然環境や生物多様性保全に関する取組に対して経済価値評価が進められ、特に干潟や湿地の経済価値については、マスコミ等からも広く取り上げられ、生物多様性保全の普及啓発の推進に一定の役割を果たしてきた。
- ・一方で、森里川海のつながりのうち、里地里山における生物多様性の保全の取組に対しては、これまで環境省として、経済価値評価を行っておらず、社会的な効果が十分に明らかにされていない。
- ・そこで、本調査では、里地里山の経済価値の提示による国民的な理解を促進するためだけでなく、PES（生態系サービスに対する支払い）の仕組みを念頭に、里地里山の経済評価を実施することとした。

(2) 評価対象

- ・下記を対象として評価を実施した。

■全国的な里地里山の保全活動により維持される生物多様性の価値

(3) 評価方法

- ・WEB アンケートを用いたCVM[※]により評価。
- ・不適切なシナリオ設定や回答者がシナリオを正しく理解できていない場合などには調査結果にバイアスが生じ、正しく評価されない場合がある。そのため、今回の評価は、可能な限りこうしたバイアスが生じないように、また過大評価とならないよう工夫しながら、有識者からの指摘・コメントを踏まえつつ実施した。

※CVM (Contingent Valuation Method : 仮想評価法)

アンケート調査等により支払い意思額を聞き取ることにより、対象とする環境の持っている価値を評価する手法。回答者に環境改善のシナリオを示し、そのシナリオを実現することに対する支払意思額を確認する。

(4) 評価結果

- ・支払意思額に評価範囲（受益範囲）である全国の世帯数（51,950,504 世帯）を乗じて評価額を算出。

評価対象	有効回答数 ^{※1} ／回答数	支払意思額 (1 世帯あたり年間 ^{※2})	評価額（年間）
全国的な里地里山の保全活動により維持される生物多様性の価値	312／432	中央値 ^{※3} ：1,411 円 平均値 ^{※4} ：2,657 円	約 733 億円 約 1,380 億円

※1 有効回答数は、抵抗回答、温情効果回答を除いた回答数

※2 アンケートでは里地里山を維持する取り組みが行われている間、毎年継続して支払うものとして質問した結果

※3 統計的に YES と NO の回答が半々となる値。政策を実行する際に過半数の支持が得られるかどうかの境界値

※4 統計的に算出した支払意思額の平均値

[参考] 生物多様性・里地里山に対する認知度と支払意思額の関係

- ・生物多様性、または里地里山に対する認知度別（それぞれ、各言葉を知っているかどうかでサンプルを区分）に支払意思額（1 世帯あたり年間）を算出したところ、以下に示すように、認知度が高い回答者ほど、支払意思額が高く、里地里山という言葉を知っている人では中央値：2,020 円、平均値：3,312 円という結果が得られた。

	生物多様性という言葉を知っているか		里地里山という言葉を知っているか		全体
	知っている	知らない	知っている	知らない	
有効回答数	167	145	99	213	312
中央値	1,705 円	1,123 円	2,021 円	1,193 円	1,411 円
平均値	2,981 円	2,286 円	3,345 円	2,359 円	2,657 円

(5) 評価結果に関する留意事項

- ・今回の結果は、「里地里山を維持する取り組みに対してのみに使われる資金を集める仕組みとして『里地里山の生物多様性保全の取組基金』を創り、国民の皆さんに寄付を募りつつ、寄付金の支払者が十分に納得できる基金の運営が行われる」という仮想的なシナリオを設定し、そのシナリオを実現することの価値を評価したものであり、里地里山そのものの価値を評価したものではない。

- ・今回は、里地里山の保全活動による効果に対する経済的価値の中でも、その一部である生物多様性が保全されることのみを対象とした評価結果※であり、里地里山の保全活動によって生み出される経済的価値の全てを評価したものではない。

※生物多様性保全のほかに、里地里山が維持されることによって期待される効果として、「木材利用など資源価値の増加」、「文化・生活面での効果」、「二酸化炭素吸収等環境保全効果」、「レクリエーション機会の提供」などが挙げられる。